



## かけがえのない素敵な時間でありますように

園長 川嶋 佳恵

園庭では、木々の芽が大きくふくらみはじめ、春の到来の足音が確実に近付いています。早いもので、あと3週間余りで年長組は修了式、年中組と年少組は、終業式を迎えます。

年少うさぎ組の子どもたちは、様々な遊びや様々な活動に意欲的に参加し、いつもわくわくしながら心から楽しみ、様々な力を育んできました。時には、魚になって泳いだり、カブトムシになって飛び回ったり、最近では、ミラノ・コルティナオリンピックのフィギュアスケーターの中井亜美選手や坂本花織選手になって、手作りスケートリンクで演技をしたり…なんにでもなりきることができるなりきりスペシャリスト。亜美ちゃん(うさぎ組のみんながそのように呼んでいます)のショートプログラムの衣装は赤と白のストライプを基調としていましたが、そのように装飾したビニール袋を身に付けて亜美ちゃんに変身すると、『道』の曲に合わせて演技をします。女子ショートプログラムですが、うさぎ組の子どもたちは、男女に関わらず亜美ちゃんになりきります。このように、様々な場面で、それぞれが思い思いのものを製作したり、ごっこ遊びをしたり、砂遊びをしたり等思う存分に遊び、伸び伸びと自分を出して、自分なりに一生懸命考えながら遊びに取り組むようになりました。また、友達と同じ空間が心地よくなり、ふざけ合ったり、おしゃべりに夢中になったり、思い通りにならなくてけんかになったりする様子も多くみられるようになりました。先日行われたうさぎ組の子ども会での取り組みでは、それぞれが自分らしさを発揮しながら役になりきって生き生きと動いたり、口を大きく開けて歌ったり、リズムやメロディーにのって楽しそうにカスタネットを鳴らしたり…一人ひとりが学級の一員として楽しさに満ち溢れ、笑顔が輝く素敵な姿に大きな成長を感じました。

年中くま組の子どもたちは、とにかく元気いっぱい。サッカーやリレー、鬼ごっこが大好きで、どんなに寒い日でも広いグラウンドを元気いっぱい走る、運動遊びのスペシャリスト。男児12人、女児2人という学級構成ですが、どの子どもも体を動かすことが大好きです。更に、空き箱や空き容器等の廃材やいろいろな素材を使って遊びに必要なものを作ったり、積み木を使ってイメージに合う場を構成したり、猫や恐竜、仮面ライダー等の被り物を身に付けたり、ラーメン屋さん、パンケーキ屋さん、お寿司屋さん等お店屋さんに必要なものを夢中で作ったりして遊ぶ、もの作りのスペシャリストでもあります。年長児に刺激を受けながら様々な経験の幅が広がる中で、友達と楽しく関わったり、喧嘩をしたり、思い通りにいかなくて葛藤したりしながら人と関わる力が付いてきました。4月当初9人だったところからどんどん仲間が増え、自分と違う個性を受け入れる過程では、戸惑ったり、喧嘩になったり、関係がうまく作れなかったりすることもありましたが、一緒に生活を共にする中で、気付くと仲間の一員として受け入れ合い、お互いを思いやる姿も見られる素敵な子どもたちに成長しました。

そして、年長ぞう組の子どもたちは、いよいよ修了の時を迎えます。どんなことにも夢中になる好奇心いっぱいの子どもたちは、友達と一緒に、試行錯誤しながら、知恵を振り絞りながら、そしてその場その場で自分たちの最適解を出しながら、何気ない遊びを感動や喜びに変えてしまう遊びのスペシャリストでした。自分の目で見て、耳で聞き、手で触り、様々な遊びや生活体験を積み重ねながら、よく考える力が身に付き、自分の世界を広げ、心豊かな子どもに育ってきました。この様な子どもたちの成長ぶりは、運動会、子ども会、ミニミニコンサート等の行事をはじめ、日常の園生活の中でも、手にとるように分かります。先日行われたミニミニコンサートで歌う姿や10種類の楽器を使って合奏をする姿は、とても立派で、保護者の皆様も感動されたことと思います。自信にあふれ楽しみながら歌ったり合奏をしたりする姿がとても素敵でしたね。

ここに至るまでのぞう組17人の個性豊かな仲間同士の関わりは、うまくいくことばかりではなかったと思います。思い通りにいかなくてトラブルになったり、お互いに売り言葉に買い言葉で相手を傷つけてしまったり、「気が合わないから一緒に遊びたくない」と思ったり…友達との関わりが楽しいと感じられないこともあったと思います。しかし、このような経験の中で、友達と思い切り笑い合ったり、喧嘩をしたりしながら人と折り合いを付けることを知り、仲間たちのちがいを受け入れ合いながら様々な感情体験を繰り返す中で、たくさんの愛情や思いやり、信頼の気持ちが育まれました。これらの育まれた人への温かい気持ちや相手を尊重する気持ちは、子どもたちのこれからの人生を支える宝物になると信じています。

子どもたちが子供園で過ごす時間は、長くても3年です。これからの長い人生を考えると、とても短い時間に思えますが、子どもたちにとっては、生涯における人格形成の基礎を培う重要な時間です。そして、その時間は、子どもたちの一生を支えるかけがえのない大切な時間だと考えます。だから、私たちは、子どもたちにとって「子供園の生活はとても楽しかった。」「自分という存在にどんな時もいつも寄り添い、大切にしてくれた。」「人生に必要なことを、子供園でたくさん学べて幸せだった。」と思えるかけがえのない素敵な時間となるよう力を尽くして参りました。

今、新しい世界へ一歩踏み出そうとしているぞう組の子どもたちは、とてもたくましく、格好よく見えます。ぞう組の子どもたちには、高円寺北子供園で過ごしたかけがえのない時間の中で培った自信と誇りをもち、たくさんの先生たちから学んだことを心の礎として、また、どんな時でも「自分らしさ」を大切に、そして、友達の「らしさ」も大切にすることを忘れずに大きく羽ばたいてほしいと願っています。

最後になりましたが、私たちが、いつも質の高い教育・保育にこだわり、子どもたちのために尽力できたことは、ひとえに保護者の皆様の深い御理解・御協力のおかげと心より感謝いたします。これからも職員一同、子どもたちの幸せと成長を願い、保護者の皆様とともに就学前教育の充実に努めて参ります。

## 《今月の指導》

### ★3歳児 うさぎ組

学級で繰り返し遊んで楽しかった経験がそのまま子ども会につながりました。くま組やそう組、おうちの人たちにたくさん褒めてもらったことで「自分たちもお兄さんお姉さんみたいに楽しいことができた！」と嬉しさを感じています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 自分の思いをだしながら一緒に遊びたい幼児との関わりを楽しむ。
- 教師やみんなと一緒についたり体を動かしたりすることを楽しむ。
- 園生活に必要なことが分かり、できることを自分からしようとする。

好きな遊びの中でも、みんなでする活動の中でも「自分の思いを表現することが楽しい」「みんなと一緒にすると楽しい」という気持ちをたくさん味わい進級に気持ちが向かっていくようにしていきます。

### ★4歳児 くま組

友達同士で誘い合い、一緒に遊ぶ姿が増えてきました。鬼遊びでルールを共有して遊んだり、ごっこ遊びでは友達とお家づくりや役になって動くことを楽しんだりしています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 友達と思いを伝え合ってイメージを共有しながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 学級のみんなで遊ぶ楽しさや、みんなで力を合わせてお別れ会をする達成感を感じる。
- そう組の修了や次は自分たちが年長組になることが分かり、お別れ会の準備や当番活動をする。

これまでたくさん遊んでくれたそう組さんが修了することが分かり、くま組みんなで力を合わせ、お別れ会の準備をしていきます。また、次は自分たちがそう組になるため誕生会の司会や当番活動にも取り組みます。自分たちでできた達成感を感じられるよう援助していきます。

### ★5歳児 ぞう組

子供園で過ごす日も残り少なくなりました。今までの園生活を振り返って懐かしんだり、楽しかったことを思い出したりしています。高円寺学園との交流があったことで、就学への期待感が高まる一方、子供園の生活が終わってしまうことへの不安を感じている様子も見られます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 友達とのつながりの中で、自分たちで遊びを進めていく満足感や充実感を味わう。
- 年中児や年少児との交流を通して、自分たちの成長を感じ自信をもつ。
- 修了までの見通しをもち、自分たちの成長を感じる。

年長児として、くま組への当番の引継ぎや誕生会の司会の引継ぎなどをしていきます。修了までの見通しをもって生活を進めていくとともに、残り少ない子供園での遊びを十分に楽しみ、「子供園が楽しかった」という充実感をもって修了を迎えられるようにしていきます。